令和８年度　佐賀市水対策市民会議　第１回委員会　議事録

（１）　報告事項

・令和８年度「多布施川水遊び場」の開設について　　資料１

・河川清掃用具の荷揚げ機について　　資料２

・佐賀市の水草対策について　　資料３

（２）　審議事項

・企業等パートナー制度の広報について　　資料４

（３）　意見交換

・河川に関する取り組み紹介
　さがクリークネット　川崎委員
・質疑応答

【意見・質疑等】

＜多布施川水遊び場について＞

○委員
　水遊び場の熱中症対策はどのようにしているか。
●事務局
　水辺に降りる階段部分に遮光シートを張り、監視員へ周知を行った。
　また更衣室にはクーラーを設置している。

＜荷揚げ機について＞

○委員
　荷揚げ機の周知方法はどのようにしているか。
●事務局
　旧式であるロープ式の貸出申込者に対して市から案内している。
○会長
　台数が３台と限りがあるため、このような方法をとっている。

○委員
　明日8月6日は自治会協議会の理事会だが、荷揚げ機について紹介してはどうか。

●事務局
　説明事項に追加して紹介させてもらいたい。　※8月6日の理事会で説明した。

○委員
　荷揚げ機紹介の説明は口頭で行うのか、見本を見せるのか。
●事務局
　実機は重たくて場所をとるため、資料配布し、口頭で説明したい。

＜水草対策について＞
○委員
　諸富で水草は少ないが、繁殖エリアはどの辺りか。
●事務局
　ナガエツルノゲイトウなどの特定外来生物が繁茂している場所は、主に嘉瀬、開成、新栄、鍋島、本庄です。

○委員
　エンサイ（空心菜）の実験結果はどうだったのか。
●事務局
　大学との取組みはこれから行うため、今後の動きは随時報告する。

○委員
　河川の水草について除草、除根、浚渫という方法があるが、最近は暑過ぎるため除草して１ヶ月もせずに元に戻ってしまい、作業するメリットがない。そのため　市には除根、浚渫をお願いしたい。
●事務局
　松江市で水陸両用の機械を見てきた。アタッチメントによって刈り取るほか、除根もできる。機械が大きいため、どこでも使えるわけではなく現場条件による。
○委員
　除根可能なら期待できる。

＜企業等パートナー制度について＞
○委員
　マグネットシートを配布して、どのように使ってもらうのか。
●事務局
　パートナー企業の社用車（トラック、普通車など）に貼ってもらう。

○委員
　マグネットシートのデザインは、どのようにして作成したのか。
●事務局
　課で原案を考え、AIを使用した。

○委員
　字が多すぎるので、もっとシンプルなデザインにした方がよい。
●事務局
　3つのデザイン案の中から方向性を決めて、見直し後に委員へお諮りしたい。

○委員
　ステッカーを貼り付ける期間はどのくらいを想定しているか。
　カラー印刷だと色落ちしやすいのではないか。
●事務局
　時間経過とともに劣化は考えられるため、要望があれば再配布したい。

○委員
　縦、横のサイズはどのくらいと言ったか。車に貼るならば、文字を読ませるのでなく、インパクトがあって魅せるデザインにすべきだろう。カラーで作っても色あせすると見た目がわるくなる。
●事務局
　マグネットのサイズは縦100ｍｍ×横400ｍｍの予定

○会長
　報道機関所属の委員からアドバイスを頂きたい。
○委員
　イラストをメインとし、文字を少なくした方がよい。
○委員
　やわらかい印象があるのは案１。案３は冷たい印象を受ける。
　複数パターン作成して企業に選択してもらえばよいのではないか。

○委員
　マグネットを貼ることで、登録企業社員の意識も高まると思う。
　複数デザインから選べるよう選択制にしてはどうか。
　必要枚数は各企業へ聞き取りすればよい。
　マグネットを貼って目に触れることで、「うちの会社も登録したい」と増えていけばよい。
○会長
　わかりやすいデザインにした方がよいとの意見を多くいただいた。
　今後の進め方の参考に、今日この場で投票を行うかどうか。
　サイズが大き過ぎると剥がれやすくなると思うので、サイズの検討も必要か。
●事務局
　デザインと内容について、複数の候補を提示し、選べるようにする。
　事務局で検討し直し、委員の皆様へお知らせします。
　（１） ロゴを作成する。（２）パートナーという単語を入れるなど、必須事項を

どうするか検討する。

○委員
私は逆の意見だが、「パートナー」とだけ言われても何のことかと思った。
この制度を知らないのにマグネットを見ても、何のことだかわからない。
誰が見ても河川清掃したくなるようなマグネットであることが重要だと思う。
誰に見せるためのマグネットなのかを念頭に置いてほしい。
一般的にCMには名前を入れたがるが、何を伝えたいのかが大事だと思う。

○会長
今回のマグネットは、その企業が「河川清掃パートナーとして登録していること」をPRするもの。

●事務局
何を目的としたマグネットなのかを踏まえて、デザインを再検討したい。

○委員
市役所で配布している「追突注意」のマグネットと同じサイズなのか。
同じサイズであれば、この文字数は見づらいと感じた。
マグネットのサイズをもっと大きくするよう変更した方がいいと思う。

●事務局
大きくしすぎると剥がれやすくなることへの懸念もある。
車に貼った時の見やすさで再検討したい。

⇒　ここまでの議論の結果、３つの候補から選択することは難しいため、本日予定していた投票は行わないこととする。デザイン含め、事務局で再検討する。

＜さがクリークネットの川崎委員から、河川に関する取り組み紹介＞

○川崎委員
・委員の交代もあり、さがクリークネットの活動をご存知ない方もいると思うので、発表を行う。
・佐賀市の水路・クリークは、排水だけでなく、治水、利水、環境保全、防衛など様々な役割がある。
・佐賀市にはたくさんの水路があるため、行政だけで河川清掃を行ったら大きな金額となるが、市民が皆で河川清掃を行うことで保全されている。
・クリークの活用事例として、柳町の裏十間川で清掃活動やカヤック体験、和舟体験を行った。松原川では、KAWADOKOプロジェクトとして飲食できるスペースを設けた。　同じく松原川では、「光と夜の散歩道」として佐賀大学、自治会、市とともにライトアップ等を行った。佐賀城のお濠では、カヤック体験などを行った。
・水辺の魅力を向上させることで、市民が川を愛する気持ちを醸成し、河川清掃を含めた川の保全活動が当たり前となるような活用と保全の循環を目指していきたい。

・そこで提案したいのが、水辺の活用について考えるワーキンググループを作れないか。水対策市民会議は年2回の開催で報告事項がメインのため、議論するには時間が足りない。

○会長
　ワーキンググループの立ち上げについて提案いただいたが、事務局の考えは。
●事務局
　検討を行う。

＜意見交換、質疑応答＞
○委員
　大雨対策でお濠の活用結果はどうだったか。
●事務局
　事前排水を行って水位を下げた。また、排水ポンプ車も稼働し、排水を行った。